

## 国際芸術祭「あいち」 地域展開事業

### 歴史と文化が息づく犬山市羽黒地区で 現代美術展を開催 「旅の想像力 現代美術 in 犬山」

3年ごとに開催している国際芸術祭「あいち」の関連事業として、現代美術への関心を高めるとともに、「あいち 2028」に向けた機運を醸成するため、国際芸術祭「あいち」地域展開事業「旅の想像力 現代美術 in 犬山」を開催します。

主な会場は、犬山市の真ん中に位置する犬山市羽黒地区です。独自の歴史や文化が息づくこの地域において、若手アーティストを中心とした現代美術の展示を行うとともに、アーティストトークやワークショップなどの関連プログラムを実施します。

なお、展示会場や各プログラムの詳細については、後日お知らせします。



【犬山市羽黒地区】犬山市民文化会館・犬山市南部公民館



【犬山市羽黒地区】旧加茂郡銀行羽黒支店復原施設（小弓の庄）

#### 【事業概要】

- テーマ 「旅の想像力 現代美術 in 犬山」
- 会期 2026年11月14日（土）～12月6日（日）
- 会場 犬山市羽黒地区（犬山市民文化会館・犬山市南部公民館、  
旧加茂郡銀行羽黒支店復原施設（小弓の庄）ほか）、犬山市役所
- 観覧料 無料
- 主催 国際芸術祭「あいち」地域展開事業実行委員会、犬山市
- 助成 文化庁
- 公式サイト <https://aichitriennale.jp/aichi-art/>

**【テーマについて】**

木曾川沿いの丘上に立つ犬山城の天守の姿は、かねてから人々の心をとらえてきました。犬山を旅した江戸時代の儒学者荻生徂徠は、その姿を唐の詩人李白が詠んだ白帝城と重ね合わせたと伝えられます。一方、犬山を旅した明治・大正時代の地理学者志賀重昂は、丘上に犬山城の見える木曾川を、ヨーロッパのライン川のようにだと称賛しました。

見知らぬ土地への旅は、人々の想像力をかき立て、さまざまな連想を促しながら、ときに現実から理想の世界への道を開きます。この展覧会では、国内外で活躍するアーティストたちが、それぞれの想像力を巡らせながら、犬山市羽黒地区の文化施設やまちなかの会場に作品を展開します。そこに繰り広げられる理想の世界は、驚きや発見を促したり、笑いを誘ったりしながら、私たちに現実を見つめ直すきっかけを与えてくれるかもしれません。

**【参加アーティスト】(50音順)**

宇留野圭、スクリプカリウ落合安奈、五月女かおる、中野岳、中村天嶺、西尾秋乃、フー・ファンチョン、村上慧、楊アジョ、吉田初三郎

※過去作品については次頁の一覧を御参照ください。

**国際芸術祭「あいち」地域展開事業とは**

国際芸術祭開催年度以外の中間年において、県内市町村を会場に開催される現代美術展です。子どもを始め多くの県民の方々が文化芸術に触れる機会を提供し、愛知県における文化芸術の裾野を広げるとともに、次代を担う若手芸術家の発掘・育成を行います。

**国際芸術祭「あいち」とは**

2010年から3年ごとに開催される、国内最大規模の国際芸術祭です。国内外から多数のアーティストが参加し、現代美術を基軸にパフォーミングアーツ、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断し、アートの多様性を発信します。

**取材・掲載に関する問合せ先**

国際芸術祭「あいち」地域展開事業実行委員会 広報担当  
電話：052-971-3111（直通）FAX：052-971-6115  
Email：press@aichitriennale.jp

**事業に関する問合せ先**

国際芸術祭「あいち」地域展開事業実行委員会 事業担当  
電話：052-971-0622（直通）

参加アーティスト過去作品一覧 ※ ( ) 内は生年、出身地



宇留野圭 (1993、岐阜県)

《26の部屋》  
2023年  
ミクストメディア



スクリプカリウ落合安奈  
(1992、埼玉県)

《ひかりのうつわ》  
2022/2026年  
発色現像方式印画  
©Ana Scripcariu-Ochiai  
Courtesy of The Third Gallery Aya



五月女かおる (1996、栃木県)

《食事の風景》  
2023年  
鉄  
撮影：高嶋清俊



中野岳 (1987、愛知県)

《樺馬棒 - オフセットディスプレイ》  
2022年  
映像



中村天嶺 (2002、岐阜県)

《桜の木》  
2025年  
キャンバス、油彩・メディウム  
撮影：Tamotsu Kido



西尾秋乃 (1998、岐阜県)

《環 - うごめく三十景 -》  
2025年  
映像 (4K、カラー、デジタル)



フー・ファンクション  
(1982、マレーシア・セランゴール州)

《コムタのムチホコ 名古屋からベナン州ジョージタウンへの外交贈呈品案》  
2021年  
インスタレーション (デジタル・プリント、3Dプリントによるマケット、木彫)



村上憲 (1988、東京都)

《村上勉強堂 本堂》  
2022年～現在  
土、木材、波板、金具、地下水など



楊アジョ (1988、中国・福建省廈門)

《仲間になろう》  
2022年  
土佐麻紙、墨・岩絵具・金箔・銀泥・雲母など



吉田初三郎  
(1884-1955、京都府)

《日本ライン図録》  
1940年  
肉筆鳥瞰図  
寂光院蔵  
画像提供：犬山市文化史料館